

平成29年度 第1回「帯広市健康生活支援審議会児童育成部会」議事録

日時：平成29年11月28日（火）19時45分～20時15分

場所：市役所10階第5B会議室

会議次第

1. 開 会

2. 議 事

- (1) 帯広市ひばり保育所の移管先法人の決定について
- (2) おびひろこども未来プラン平成28年度進捗状況報告について
- (3) 保育士確保に関する取組みについて

3. その他

4. 閉 会

配布資料

資料1

帯広市ひばり保育所の移管先法人の決定について

資料2

おびひろこども未来プラン平成28年度進捗状況報告書

資料3

保育士職場復帰セミナー実施報告

出席委員（19名中14名出席）

村上委員、真井委員、成田委員、松田委員、山口委員、  
伊賀専門委員、中岡専門委員、宮崎専門委員、佐藤専門委員、  
野崎部会委員、小沼部会委員、下鳥部会委員、黒田部会委員、吉澤部会委員

事務局

池原こども未来部長、野澤こども未来部企画調整監  
佐藤こども課長、星野保育担当課長、戸田課長補佐、  
須永子育て支援課長、金田課長補佐、遠藤課長補佐、  
今青少年課長、前川児童会館長

平成29年度 第1回「帯広市健康生活支援審議会児童育成部会」議事録  
 (平成29年11月28日 19:45~20:15)

<p><b>1. 開 会</b></p>	<p>※ 出欠の確認など</p>
<p><b>2. 議 事</b></p>	<p>(1) 帯広市ひばり保育所の移管先法人の決定について              (2) おびひろこども未来プラン平成28年度進捗状況報告について              (3) 保育士確保に関する取組みについて</p>
<p><b>議題(1)</b>  (事務局)</p>	<p>議題(1)「帯広市ひばり保育所の移管先法人の決定について」  (資料1の説明)              平成31年4月に民間へ移管予定の帯広市ひばり保育所の移管先について、本年7月に公募したところ3件の応募があり、法人選定委員会による選定結果を踏まえて、本年10月に社会福祉法人弥生福祉会に決定した。  (発言なし)</p>
<p><b>議題(2)</b>  (事務局)</p>	<p>議題(2)「おびひろこども未来プラン平成28年度進捗状況報告について」  (資料2の説明)              「おびひろこども未来プラン」については、毎年度、進捗状況を整理することとしている。              子ども・子育て支援事業計画の15の確保方策と第六期総合計画の19の成果指標を用いて目標に対する実績の達成状況や、事業の取組み状況を踏まえ、評価を行っています。              今年度は、昨年度と同じく21の基本施策中「A 施策は順調に進んでいる」が15施策、「B 施策はある程度進んでいる」が6施策となっており、評価が変わったところはありません。</p>

<p>(委員)</p>	<p>幼稚園の部分についてもう一度説明してほしい。</p>
<p>(事務局)</p>	<p>平成28年度は、教育認定の利用可能数が目標に達していないため個別の評価は「C」となっているが、幼稚園4園が認定こども園へ移行したことで利用可能数が減となったことが要因であり、幼稚園等の利用希望者以上の枠は確保できているため、全体の評価は「A」の施策は順調に進んでいると判定している。</p>
<p><b>議題(3)</b></p>	<p>議題(3)「保育士確保に関する取組みについて」</p>
<p>(事務局)</p>	<p>(資料3の説明)</p> <p>公私立共通の課題である保育士不足の解消に取り組むため、11月16日と17日に保育士職場復帰セミナーを開催した。16名の参加者のうち、13名が子育て中の方で、半数の8名は保育士資格を持っているが、実際に保育所等で勤めた経験が無い方だった。</p> <p>合同職場説明会も合わせて開催しており、参加者は法人から保育所現場の様子や働き方などの説明を受け、職場復帰に向けての不安が少しずつ解消され、就労につながる希望も見えた。</p>
<p>(委員)</p>	<p>児童保育センターも支援員確保には苦勞している。このようなセミナーが次も開催されるなら参加させてほしい。</p>
<p>(事務局)</p>	<p>人材確保は、児童保育センターも共通の課題と認識している。今後もこのような取組みは続けていきたいので、今回は児童保育センターの参加も検討していきたい。</p>
<p>(委員)</p>	<p>実際に潜在保育士はどのくらいいるのか。</p>
<p>(事務局)</p>	<p>十勝・帯広に何人いるかは把握できていない。北海道は登録者数を把握しているので、地区ごとの情報が提供されれば想定は可能。</p> <p>来年度から、市内の保育所等で保育士として働く方のお子さんの入所調整の点数を加点することで、保育所入所の優先順位を上げている。このような取組みやセミナーを引き続き開催していくことで、保育士の確保に努めていきたい。</p>

<p>(委員)</p>	<p>他の自治体でこのようなセミナーは実施しているのか。</p>
<p>(事務局)</p>	<p>こちらの知る限り、十勝では初めて。道内では苫小牧市が2回開催しており、一定の成果を得ていると伺っている。</p>
<p>(委員)</p>	<p>他の自治体では、自分が働く保育所に自分の子どもを預ける場合に優先入所させている例もあるが、どう考えるか。</p>
<p>(事務局)</p>	<p>そのような事例も承知しているが、本市としては自分が働く保育所への入所かどうかは問わないで、保護者が市内の保育所に勤務する場合、優先的に入所させる形で実施していく。</p>
<p>(委員)</p>	<p>帯広市がこのようなセミナーを開催したことはありがたいこと。それぞれの法人だけでは、保育士確保は難しい部分もあるので、広く周知していただき、今後も続けてほしい。</p>
<p>(事務局)</p>	<p>今回のセミナーは、民間法人の協力を得られたことが大変大きい。参加者からも復職を前提とする働く意欲が伝わってきた。今後も検討・協議を重ねて、より良いものとして続けていきたい。</p>
<p>(委員)</p>	<p>人材確保は、幼稚園教諭も共通の課題ではないのか。</p>
<p>(事務局)</p>	<p>今回は初めての開催ということで、保育士に限定したが、今後は必要に応じて幼稚園教諭や児童保育センターの支援員なども対象として拡大することも考えたい。</p>
<p><b>3. その他</b></p>	<p>次回は来年2月の審議会に合わせて開催する予定。</p>
<p>(事務局)</p>	<p>平成32年度から、新しい子育て支援の計画がスタートする。来年度はその準備期間として、ニーズ調査を目的としたアンケートを実施予定。委員の皆様にも審議等のご協力をいただきたい。</p>
<p><b>4. 閉会</b></p>	